

平成24年度第9回NIE岩見沢・空知セミナー 国語科学習指導(案)

日時 平成24年10月26日5校時目(13時25分～14時10分)

場所 三笠市立三笠小4年2組教室

児童 三笠市立三笠小4年1組・2組 計40名

指導者 教頭 柳谷直明(三笠市立三笠小教頭)

1 題材名 説明文教材の読解を活用し、表現力を高めよう。

2 教材名 説明文教材で習得した読解力を活用するニュース・セッション～タブレットを用いた授業開発例として～

3 授業設定理由 4年生の教科書教材でポスター・セッションが扱われている。主張したい話題を決定、調査し、ポスターを作成して発表し、話し合う言語活動である。国語科で習得した読解力(以下、「学習用語」)を活用できる総合的な言語活動である。各教科等の資料説明で使える価値が有る。しかし、時間がかかる。そこで、ポスター・セッションの前に、簡単なセッションを経験させる言語活動として、ニュース・セッションを開発した。実際のポスター・セッションは他教科の課題解決のための言語活動として扱えばよい。

「ニュース・セッション」とは、「ニュースを用いた話し合い活動」である。ニュースの説明者はニュースを選択して、その価値を語る。聴者はその選択ニュースと説明を評価する。そして、評価を話し合う。ポスター・セッションの流れを国語科で経験させる。

このように、言語活動を国語科で多く経験させると各教科等での言語活動が充実する。

4 目標 読解、メモ、ニュース説明、質疑応答を通し、表現力を高める。

5 指導計画

☆ 第1次(4時間)説明文教材『便利ということ』(教育出版小4下)の読解指導
説明文教材で習得させる「学習用語」——「小段落、行空け、大段落構成(導入・事例、展開、結び)、指示語(こそあど言葉)、指示内容、代入、話題、転換、資料、出典、価値、課題提示、課題解決、例示、判断、理由、問い、答え」等。

☆ 第2次(4時間)習得した「学習用語」を活用するニュース・セッション
ニュース取材メモ(出典、資料[見出し、カット、説明]、判断理由、価値、呼掛け)。

☆ 第3次(理科や社会科などで5時間)自らの課題を解決するポスター・セッション

6 第2次計画

- (1)課題解決計画——自分が調べたい課題解決計画。ここでは、新聞記事の選択をさせる。
- (2)情報収集——ネットや書物やインタビューでの情報収集。ここでは、省略。
- (3)ニュース説明準備——スピーチはメモでさせるのがよい。原稿は不要。新聞記事を写真データとしてタブレットPCで提示させる。写真データ提示が簡便だからである。
- (4)ニュース説明——選択した新聞記事をテレビ画面で紹介。その価値を説明させる。詳しい調査を行っていないので、難しい質問は避けさせる。分かっている範囲で答えさせる。ニュース説明2分間、質疑応答3分間の5分間程度のセッションにさせる。

7 評価

- (1)説明文読解で習得した「学習用語」をニュース取材メモで使いさせたか。
- (2)習得した「学習用語」を用いて、ニュース・セッションを上達させたか。

国語科学習指導（案）

説明文教材で読解力を鍛える～『「便利」ということ』（教出小4下）～

平成24年10月12日（金）11時25分～12時10分

2階4年2組教室，4年1組・2組 計40名，指導者 柳谷直明

1 **指導目標** 説明文の読解（言語活動）を通して，読解力上達のための「学習用語」を習得させる。

2 **指導事項** 本時での言語活動を上達させる具体的な指導事項（以下，「学習用語」。「学習用語」をブロック体にし，網を掛ける。）

□ **言語活動1 漢字**

(1) **音読み，訓読み，読みテスト**の習得。

(2) **掌（てのひら）書き，空（そら）書き，書きテスト**の習得。

□ **言語活動2 読解**

(1) 補助符号——**鉤**の働きの違いの意味の習得。

(2) 文章——**題名，本文（内言，外言），引用**の習得。

(3) 記述法——**文体（敬体，常体），接続助詞の削除，箇条書き**の習得。

(4) 読書法——**要点，要旨，メモ，文体加工，接続語（並列，順接，逆接）**の習得。

(5) **説明構成例**——**小段落，行空け，大段落構成（導入・事例，展開，結び），指示語（こそあど言葉），指示内容，代入，話題，転換，資料，出典，価値，課題提示，課題解決，例示，判断，理由，問い，答え**の習得。

□ **言語活動3 授業作文**

常体，句読点，書き出し（人物，引用，学び），改行段落，意見，評価，称賛の習得。

3 本時の展開（第1次，1/4）。指導事項の時間配分。

時配	学習活動	教師の働きかけ	備考
15分	1 漢字の読み書き (1) 読み練習・テスト (2) 書き練習・テスト 札を付ける。行いを改める。本を借りる。外国に住む。	1 漢字指導 1日4問を毎時間行うと良い。 教科書 巻末 を使う。132ページ。 読みテスト・書きテスト の丸付けまでを終える。	・未習は読み，既習は書きを習熟させる。
20分	2 読解 書き乍ら読む。 構成 を理解する。 要点 を理解する。 経験を想起する。	2 読解指導 メモ，題名，話題，筆者，文体（敬体，常体），書き出し（人物，引用），本文，問いと答え，文体加工，課題提示，課題解決，例示，小段落，大段落構成（導入・事例，展開，結び） を指導する。	・『プランくん』に メモ させる。 ・ 発言 ，表情， メモ で評価する。
10分	3 授業作文 口頭作文 を経験する。 授業作文 を書く。「学習用語」を使用する。作文を 称賛 し合う。	3 授業作文指導 本時での学びを「学習用語」として書かせる。書く活動で読解力が向上できる。「学習用語」の使用で 評価 させる。 隣同士で発表させ合い， 称賛 させ合う。	・記述内容で 評価 する。

4 本時の評価。授業の成否を判定するポイントや反省観点。

説明文の読解（言語活動）を通して，読解力上達のための「学習用語」を指導する。

国語科学習指導（案）

説明文教材で読解力を鍛える～『「便利」ということ』（教出小4下）～

平成24年10月15日（月）13時25分～14時10分

2階4年2組教室，4年1組・2組 計40名，指導者 柳谷直明

1 **指導目標** 説明文の読解（言語活動）を通して，読解力上達のための「学習用語」を習得させる。

2 **指導事項** 本時での言語活動を上達させる具体的な指導事項（以下，「学習用語」。「学習用語」をブロック体にし，網を掛ける。）

□ **言語活動1 漢字**

(1) **音読み，訓読み，読みテスト**の習得。

(2) **掌（てのひら）書き，空（そら）書き，書きテスト**の習得。

□ **言語活動2 読解**

(1) 補助符号——**鉤**の働きの違いの意味の習得。

(2) 文章——**題名，本文（内言，外言），引用**の習得。

(3) 記述法——**文体（敬体，常体），接続助詞の削除，箇条書き**の習得。

(4) 読書法——**要点，要旨，メモ，文体加工，接続語（並列，順接，逆接）**の習得。

(5) **説明構成例**——**小段落，行空け，大段落構成（導入・事例，展開，結び），指示語（こそあど言葉），指示内容，代入，話題，転換，資料，出典，価値，課題提示，課題解決，例示，判断，理由，問い，答え**の習得。

□ **言語活動3 授業作文**

常体，句読点，書き出し（人物，引用，学び），改行段落，意見，評価，称賛の習得。

3 本時の展開（第1次，2/4）。指導事項の時間配分。

時配	学習活動	教師の働きかけ	備考
15分	1 漢字の読み書き (1) 読み練習・テスト (2) 書き練習・テスト 低学年。消灯する。出席する。大成功。	1 漢字指導 1日4問を毎時間行くと良い。 教科書 巻末 を使う。133ページ。 読みテスト・書きテスト の丸付けまで。	・未習は読み，既習は書き。 ・『プランくん』に
20分	2 読解 書き乍ら読む。 補助符号，文章，記述法，読書法，説明構成を理解する。 経験を想起する。	2 読解指導 小段落，指示語，指示内容，問いと答え，鉤（内言，地の文，外言，改行，引用），大段落構成（導入・事例，展開，結び），課題提示，課題解決，例示，答え，接続語（並列，順接，逆接），代入，接続助詞の削除 を指導する。	・ メモ させる。 ・ 発言 ，表情， メモ で評価する。
10分	3 授業作文 口頭作文，授業作文 ，「学習用語」使用。 称賛 。	3 授業作文指導 常体，句読点，書き出し（人物，引用，学び），改行，意見，評価，称賛 を指導。	・記述内容で 評価 する。

4 本時の評価。授業の成否を判定するポイントや反省観点。

説明文の読解（言語活動）を通して，読解力上達のための「学習用語」を習得させたか。

国語科学習指導（案）

説明文教材で読解力を鍛える～『「便利」ということ』（教出小4下）～

平成24年10月16日（火）11時25分～12時10分

2階4年2組教室，4年1組・2組 計40名，指導者 柳谷直明

1 **指導目標** 説明文の読解（言語活動）を通して，読解力上達のための「学習用語」を習得させる。

2 **指導事項** 本時での言語活動を上達させる具体的な指導事項（以下，「学習用語」。「学習用語」をブロック体にし，網を掛ける。）

□ **言語活動1 漢字**

(1) **音読み，訓読み，読みテスト**の習得。

(2) **掌（てのひら）書き，空（そら）書き，書きテスト**の習得。

□ **言語活動2 読解**

(1) 補助符号——**鉤**の働きの違いの意味の習得。

(2) 文章——**題名，本文（内言，外言），引用**の習得。

(3) 記述法——**文体（敬体，常体），接続助詞の削除，箇条書き**の習得。

(4) 読書法——**要点，要旨，メモ，文体加工，接続語（並列，順接，逆接）**の習得。

(5) **説明構成例**——**小段落，行空け，大段落構成（導入・事例，展開，結び），指示語（こそあど言葉），指示内容，代入，話題，転換，資料，出典，価値，課題提示，課題解決，例示，判断，理由，問い，答え**の習得。

□ **言語活動3 授業作文**

常体，句読点，書き出し（人物，引用，学び），改行段落，意見，評価，称賛の習得。

3 本時の展開（第1次，3/4）。指導事項の時間配分。

時配	学習活動	教師の働きかけ	備考
15分	1 漢字の読み書き (1) 読み練習・テスト (2) 書き練習・テスト 質問，駅で乗る，体験談，明暗。	1 漢字指導 1日4問を毎時間行くと良い。 教科書 巻末 を使う。133ページ。 読みテスト・書きテスト の丸付けまでを終える。	・未習は読み，既習は書き。 ・『プランくん』に
20分	2 読解 書き乍ら読む。 補助符号，文章，記述法，読書法，説明構成を理解する。 経験を想起する。	2 読解指導 指示語（こそあど言葉），指示内容，代入，接続助詞，削除，資料，文体加工，説明，話題，転換，例示，判断，理由，原因，結果 を指導する。 歩道橋での便利と不便の比較をさせる。	・ メモ させる。 ・ 発言 ，表情， メモ で評価する。
10分	3 授業作文 口頭作文，授業作文 ，「学習用語」使用。 称賛 。	3 授業作文指導 常体，句読点，書き出し（人物，引用，学び），改行，意見，評価，称賛 を指導。	・記述内容で 評価 する。

4 本時の評価。授業の成否を判定するポイントや反省観点。

説明文の読解（言語活動）を通して，読解力上達のための「学習用語」を習得させたか。

国語科学習指導（案）

説明文教材で読解力を鍛える～『「便利」ということ』（教出小4下）～

平成 24 年 10 月 17 日（水） 9 時 30 分～10 時 15 分

2 階 4 年 2 組 教室， 4 年 1 組・2 組 計 40 名， 指導者 柳谷直明

1 指導目標 説明文の読解（言語活動）を通して，読解力上達のための「学習用語」を習得させる。

2 指導事項 本時での言語活動を上達させる具体的な指導事項（以下，「学習用語」。「学習用語」をブロック体にし，網を掛ける。）

□ 言語活動 1 漢字

(1) 音読み，訓読み，読みテストの習得。

(2) 掌（てのひら）書き，空（そら）書き，書きテストの習得。

□ 言語活動 2 読解

(1) 補助符号——鉤の働きの違いの意味の習得。

(2) 単語——対義語の習得。

(3) 文章——題名，本文（内言，外言），引用の習得。

(4) 記述法——文体（敬体，常体），接続助詞の削除，箇条書きの習得。

(5) 読書法——要点，要旨，メモ，文体加工，接続語（並列，順接，逆接）の習得。

(6) 説明構成例——小段落，行空け，大段落構成（導入・事例，展開，結び），指示語（こそあど言葉），指示内容，代入，話題，転換，資料，出典，価値，課題提示，課題解決，例示，判断，理由，問い，答えの習得。

□ 言語活動 3 授業作文

常体，句読点，書き出し（人物，引用，学び），改行段落，意見，評価，称賛の習得。

3 本時の展開（第 1 次，4 / 4）。指導事項の時間配分。

時配	学習活動	教師の働きかけ	備考
15 分	1 漢字の読み書き (1) 読み練習・テスト (2) 書き練習・テスト 勝負，集中，分散，長所。	1 漢字指導 1 日 4 問を毎時間行うと良い。 教科書巻末を使う。133 ページ。 読みテスト・書きテストの丸付けまでを終える。	・未習は読み，既習は書き。 ・『プランくん』に
20 分	2 読解 書き乍ら読む。 案内板，投入口，不自由，得点・失点，入学・卒業，多数・少数を学ぶ。	2 読解指導 指示語，指示内容，代入，傍線，対義語，文体加工，要点，要旨，判断，理由，原因，結果，資料，説明，価値を指導する。 人や立場により，便利さは違う。	・メモさせる。 ・発言，表情，メモで評価する。
10 分	3 授業作文 授業作文を書く。「学習用語」を使用。称賛する。	3 授業作文指導 常体，句読点，書き出し（人物，引用，学び），改行，意見，評価，称賛を指導。	・記述内容で評価。

4 本時の評価。授業の成否を判定するポイントや反省観点。

説明文の読解（言語活動）を通して，読解力上達のための「学習用語」を習得させたか。

国語科学習指導（案）
説明文教材で習得した読解力を活用するニュース・セッション
～タブレットを用いた授業開発例として～

平成24年10月24日（水）13時25分～/25日（木）13時25分～
 2階4年2組教室，4年1組・2組 計40名，指導者 柳谷直明

1 **指導目標** ニュース・セッション（言語活動）を通して「学習用語」を習得させ、各教科等で活用できるようにする。

2 **指導事項** 本時での言語活動を上達させる具体的な指導事項（以下、「学習用語」。「学習用語」をブロック体にし，網を掛ける。）

□ **言語活動1 漢字**

(1) **音読み，訓読み，読みテスト**の習得。

(2) **掌（てのひら）書き，空（そら）書き，書きテスト**の習得。

□ **言語活動2 課題解決**

(1) **課題解決構成例——疑問，課題，調査計画，発表計画，準備，調査結果，結果発表，自己評価，次の課題**の習得。

(2) **ニュース取材メモ——『プランくん』（テーマ，ラベル欄，抽象的，ランチ欄，具体的，短く，順番，ナンバリング欄，数字，構成），素早く，5W2H（時・場所・人物・行動・理由，方法，負担），考え（主題，問い，答え，意見，感想）**の習得。

□ **言語活動3 授業作文**

常体，句読点，書き出し（人物，引用，学び），改行段落，意見，評価，称賛の習得。

3 本時の展開（第2次，1～2/4）。指導事項の時間配分。

時配	学習活動	教師の働きかけ	備考
30分	1 漢字の読み書き 読み書き練習・テスト 安全，感想，筆記具，他所，道路，受け取る，身近な坂道，階段，乗る，調べる，式と答え，部分。	1 漢字指導 3日分の12問でテストする。既習漢字。教科書巻末を使う。133ページ。	・ 新聞記事 選択， ニュース取材メモ の作成を 評価 。 ・他者への 価値 有る 記事 を 選択 させる。 ・2時間で 全員 に ニュース説明 準備を。
50分	2 課題解決計画 (1) 課題解決メモ 『プランくん』に課題解決の抽象・具体を書く。 (2) ニュース取材メモ 記事を決め，メモする。新聞記事を選択し，写す。出典，資料（見出し，カット，説明），判断理由，価値，呼掛けをメモする。	2 課題解決指導 課題解決構成例——疑問，課題，調査計画，発表計画，準備，調査結果，結果発表，自己評価，次の課題 を指導する。 ニュース取材メモ——『プランくん』メモ（テーマ，ラベル欄，抽象的，ランチ欄，具体的，短く，順番，ナンバリング欄，数字，構成），素早く，5W2H（場面・人物・行動・理由，方法，負担），考え（主題，問い，答え，意見，価値） を指導する。	
10分	3 授業作文 授業作文 を書く。「学習用語」を使用。称賛する。	3 授業作文指導 常体，句読点，書き出し（人物，引用，学び），改行，意見，評価，称賛 を指導。	

4 本時の評価。授業の成否を判定するポイントや反省観点。

ニュース・セッションを通して「学習用語」を習得させ，各教科等で活用できるように

国語科学習指導（案）
説明文教材で習得した読解力を活用するニュース・セッション
～タブレットを用いた授業開発例として～

平成24年10月26日（金）13時25分～14時10分
 2階4年2組教室，4年1組・2組 計40名，指導者 柳谷直明

1 指導目標 ニュース・セッション（言語活動）を通して「学習用語」を習得させ、各教科等で活用できるようにする。

2 指導事項 本時での言語活動を上達させる具体的な指導事項（以下、「学習用語」。「学習用語」をブロック体にし，網を掛ける。）

□ 言語活動1 **ニュース説明練習**

資料説明構成例（挨拶，氏名，目的，出典，資料，説明，価値，挨拶，お礼）の習得。

□ 言語活動2 **ニュース・セッション**

態度（笑顔，視線，身振り，丁寧），声の調子（届く音量，緩，間），聴取反応（挙手，頷き，評価，感想，お礼），質疑応答（問い，答え），黙話の習得。

□ 言語活動3 **授業作文**

常体，句読点，書き出し（人物，引用，学び），改行段落，意見，評価，称賛の習得。

3 本時の展開（第2次，3/4）。指導事項の時間配分。

時配	学習活動	教師の働きかけ	備考
10分	1 ニュース説明練習 2分間程度でニュース説明する練習を初めて行う。ニュース取材メモを説明メモに転用する。	1 ニュース説明指導 資料説明構成例（挨拶，氏名，目的，出典，資料，説明，価値，挨拶，お礼）指導。	・ニュース選択，ニュース取材メモ作成を事前に用意。
15分	2 ニュース・セッション (1) グループ練習 グループの中で全員が ニュース説明 を行う。 ニュース説明者 を一人決める。	2 ニュース・セッション指導 (1) グループ練習 グループ内で全員に ニュース説明 をさせる。 態度 （笑顔，視線，身振り，丁寧）， 声の調子 （届く音量，緩，間）， 黙話 指導。 グループで一人，再度聴いてみたい人を ニュース説明者 として決めさせる。 はい，で手を差し出させ，決めさせる。	・全員に ニュース説明 をさせたいが，本時では代表者だけ。
15分	(2) ニュース説明 じゃんけんで ニュース説明グループ を決める。 2人が ニュース説明 。他グループも次時で ニュース説明 する。	(2) ニュース説明 グループ代表者じゃんけんで ニュース説明グループ を決めさせる。 本時では，2人に ニュース説明 させる。 他グループは次時でさせる。 聴取反応 （挙手，頷き，評価，感想，お礼）， 質疑応答 （問い，答え）を指導する。	・他教科で全員に ニュース説明 をさせる。
5分	3 授業作文 授業作文 を書く。「学習用語」を使用。称賛する。	3 授業作文指導 常体 ， 句読点 ， 書き出し （人物，引用，学び）， 改行 ， 意見 ， 評価 ， 称賛 を指導。	

4 本時の評価。授業の成否を判定するポイントや反省観点。

ニュース・セッションを通して「学習用語」を習得させ，各教科等で活用できるように

平成24年度 第9回NIE岩見沢・空知セミナー開催要項

1 主催

北海道NIE推進協議会

2 後援

北海道教育庁空知教育局 岩見沢市教育委員会 三笠市教育委員会

3 日時

平成24年10月26日(金)

13:25(受付13:00) ~ 16:30

4 会場

三笠市立三笠小学校

三笠市本郷町485-1 TEL01267-2-2010

5 公開授業と実践資料説明

① 授業公開

授業者 柳谷直明(三笠市立三笠小学校教頭) 授業公開 4年1・2組合同
国語科 題材名「説明文教材の読解を活用し、表現力を高めよう」(説明文教材で習得した読解力を活用するニュース・セッション~タブレットを用いた授業開発例の一つとして~)

② 実践資料説明

ア 砂川市立砂川小学校 北河 剛治 教諭
イ 岩見沢市立光陵中学校 山田 圭子 教諭
ウ 長沼高等学校 荒木美智雄 教諭

6 指導と助言(予定)

道教育庁空知教育局

三笠市教育研究所

7 当日の流れ

① 授業公開	13:25 ~ 14:10
② 開会及び授業研究等	14:20 ~ 15:05
ア 来賓挨拶	鳥居和比徒 北海道新聞岩見沢総局長
会場校校長挨拶	順毛 誠一 様
イ 授業者から	
ウ 話し合い	
	休憩(15:05 ~ 15:10)
③ 実践資料説明と意見交流	15:10 ~ 16:15
ア 実践資料説明	
イ 質疑と意見交流	
	※資料説明時間は一人15分程度
	※質疑も含め16:15には終了
④ 講評(指導と助言)	16:15 ~ 16:30
⑤ 連絡及び閉会	16:30 ~